

はしかわ市長の **だいすき!くさつ**



運動で
リフレッシュと
健幸推進

新緑の美しい季節になりましたが、新型コロナウイルス感染症の不安な状況はいまだ続いており、外出を控えている方も多いのではないのでしょうか。活動の自粛による運動不足やストレスから、身体的・精神的な健康を脅かす健康二次被害も懸念されます。

市では「健幸都市くさつ」の取組を進めており、適度な運動は免疫力が高まり、リフレッシュ効果やアンチエイジング効果(抗加齢)が期待されるなど、心身の健康増進に大きな役割を果たします。新型コロナウイルス対策を講じながら、積極的に体を動かすことをお勧めします。

スマートフォン向け、健康推進アプリ「B-WAITEK」は、日々の健康づくりが健康ポイントになり、ポイントをためて景品に応募することができます。このアプリを入れたスマートフォンを持ってウォーキングをすれば、ポイントがたまりやすく、健康増進にもつながるので、大変お勧めです(詳しくは14ページをご覧ください)。

平成21(2009)年度から開始した「いきいき百歳体操」は、住民主体で継続できるように出前講座や立ち上

ります。また、家庭での感染症対策として、風邪などの症状がある場合は、食事の時間をずらす、部屋を分ける、同室ではマスクを着用するなど対策をしていただき、職場などでも、徹底をお願いします。

12〜17歳の方のワクチン追加(3回目)接種につきましては、2回目接種完了から6カ月を経過していれば可能となりましたので、前向きな接種の検討をお願いします。対象者へは順次、接種券を発送してまいります。

また、家庭での感染症対策として、風邪などの症状がある場合は、食事の時間をずらす、部屋を分ける、同室ではマスクを着用するなど対策をしていただき、職場などでも、徹底をお願いします。

同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等についてを通知しました。この通知には、自認する性別の制服・衣服・体操服の着用ができること、更衣する部屋として保健室や多目的トイレなどの利用を認めるといった支援の事例が示されています。その反面、制服の選択はそのまま自身の性のカミングアウトにつながり、偏見や差別を生み、本人がますます生きづらさを感じてしまうことにつながる可能性もあります。

そのような中で、制服を製造販売する企業が、現役の中高生やその保護者を対象に意識調査を行ったところ、約8割の人が制服を自由に選択できることに肯定的でした。調査結果を踏まえ、今の子どもたちや社会のニーズに合った制服の開発や製造を行い、その結果生まれたのが、男女共通デザインの「ジェンダーレス制服」で、少しずつ採用する学校も増えていきます。

一人ひとりが自分らしく生きられる社会に
これまで、女子の制服はス

問 人権センター(大路二、キラリエ草津内) ☎563-1177、☎563-7070

差別のない明るいまちに

コラム COLUMN

『当たり前』について考える～中学生の制服をめぐって～

市内の中学校で、子どもたちの制服の見直しが進められていることを知っていますか? 県内でもこの4月から制服を変更する中学校があります。これまで『男子はズボン、女子はスカート』と決められていた制服のデザインを共通にするか、生徒自身の好みに合わせて選べるようにするということもこの見直しの関係者によるとこの取り組みは、心と体の性が一致しないトランスジェンダーの子どもたちへの配慮の一つです。しかし、これには周りの理解がとても重要です。」ということでした。

自分に合ったものを選ぶ
どれを選んで大丈夫
さて、今回皆さんと考えたことは「女性がスカートをはかないのが今の社会的流れだ」ということではありません。『女性はスカートをはくものだ』というように、これまで疑問にも思わなかった、わたしたちの認識について考えることが必要ではないかということです。

平成27(2015)年4月、文部科学省は全国の学校に「性

一人ひとりが自分らしく生きられる社会に
これまで、女子の制服はス

そのような中で、制服を製造販売する企業が、現役の中高生やその保護者を対象に意識調査を行ったところ、約8割の人が制服を自由に選択できることに肯定的でした。調査結果を踏まえ、今の子どもたちや社会のニーズに合った制服の開発や製造を行い、その結果生まれたのが、男女共通デザインの「ジェンダーレス制服」で、少しずつ採用する学校も増えていきます。

カーポート「しかなかった中で、自転車で乗りにくい」「寒い朝の登校が辛い」「足の傷が見られたくない」といった声が届かないこともありました。『ジェンダーレス制服』の取り組みが、単に「トランスジェンダーのための制服」ではなく、一人ひとりが「自分に合ったものを選ぶ」という環境づくりと「個人の趣味や嗜好を尊重することにつながることを期待したいものです。」

その人の特性や、スカート、ズボンの機能性とともに、当たり前とされてきたことを、今一度考える機会となったのではないのでしょうか。

中学校の制服に限らず、まだまだ社会の中には「こうあるべきだ」「こうでなくてはならない」とされていることで行動が縛られ、生きづらさを感じて生活している人がいます。性別だけでなく国籍や生い立ち、身体的特徴など、自分と異なる考えや行動に対する偏見、差別や無理解が相手を傷つけることもあることを考えながら「一人ひとりが自分らしく生きられる社会」にしていきたいものです。

2月定例市議会



2月25日に開会し、市長が提出した36議案を原案どおり可決等しました。また、議員が提出した条例案1件、規則案1件、決議案1件を可決、意見書案3件を否決とし、3月24日に閉会しました。主な議案は次のとおりです。

《市長が提出したもの》
当初予算 = 令和4年度草津市一般会計予算など
補正予算 = 令和3年度草津市一般会計補正予算(第11号)など
条例案件 = 草津市部設置条例の一部を改正する条例案など
一般議案 = 指定管理者の指定につき議決を求めることについてなど

人事案件 = 草津市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについてなど
《議員が提出したもの》
条例 = 草津市議会委員会条例の一部を改正する条例案
規則 = 草津市議会会議規則の一部を改正する規則案
決議 = ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議案
意見書 = 新型コロナウイルス患者等を受け入れるための病床確保補助の継続を求める意見書案など

問 総務課(3階) ☎561-2301、☎561-2483
議事庶務課(3階) ☎561-2413、☎561-2485

同和問題市民連続講座

所 キラリエ草津(大路二)
対 市内に在住か通勤・通学している人で、原則として全て受講できる人
定 各70人(先着順)
申 5月6日(金)～6月3日(金)
申・問 人権センター(大路二、キラリエ草津内) ☎563-1765、☎563-7070

第1講座 6月10日(金) 14:00～15:45	第2講座 6月18日(土) 10:00～11:45
テーマ 「なぜ学ぶの?何を学ぶの?」 ～今、ここにある部落差別～	テーマ 「私たちは差別に負けない」 ～くらしを認め、明日を描き、生きぬく子どもを育てる～
講師 吉岡綾さん	講師 池山浩隆さん

第3講座 6月24日(金) 14:00～15:45	第4講座 6月30日(土) 10:00～11:45
テーマ 「部落問題と『出会う』」 ～マイノリティ当事者がみる世界から～	テーマ 「もしもあの時、正しく学んでおけば…」 ～本当のことを知ることで、負の連鎖を断ち切る～
講師 澤井未媛さん	講師 大原和子さん

